

# 危機こそ変革の好機

## 決然と力強い一歩を踏み出す一年に



会長  
上野 雅史

会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

まずもつて、元日夕刻に発生しました能登半島地震により、お亡くなりになりました多くの方々に、心よりご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

当商工会議所青年部では、1月5日に尾川会長らが飲料水や食料品を被災地に届けており、また、当会議所でも、復興義援金の募金の呼びかけを致しております。

さて、皆様ご案内の通り、地元選出の加藤鮎子衆議院議員におかれましては、昨年9月の第2次岸田第2次改造内閣において、こども政策などを担当される内閣府特命担当大臣にご就任されました。

危機的な状況にある人口減少、少子化の進行に対し、こども政策への対応は待ったなしの最重要課題であり、こども・若者の視点に立った政策づくり、こどもまんか社会の実現を託されての抜擢と存じます。地元にとりましても、待望の大臣ご就任であり、心よりお祝いを申し上げます。

昨年は、3年余りの長きにわたった新型コロナウイルス感染症との戦いも、5月に位置付けが5類へ移行されたことに伴い、ようやくコロナ前の日常が戻り、経済も徐々に正常化が進んだ1年でした。一方で、海外情勢を見ますと、ロシアとウクライナの紛争は膠着状態に陥り、10月には中東でも軍事衝突が起こるなど、不穏な事態が次々と生じています。また、欧米はじめ総じてインフレ傾向が続いており、金融政策が引き締められています。この影響で、我が国では、円安が進み、輸入製品を中心に物価が上昇、企業や家計への圧迫が続いています。

こうした中、地域においては、天神祭りや赤川花火大会など多くのイベントが本来の姿で復活し、人の流れも戻りつつあるなど、各企業や市民の皆様が、「自粛」から「活動」へとモードを切り替えながら、コロナ禍前の元気な地域を取り戻そうと奮闘いただいております。これに対し、改めて敬意を表するものであります。

今年はいよいよコロナ禍明けの再生に向けた一歩を歩み出し、明るい展望が拓ける年にしていきたいと思っております。

「生産性の向上」により企業業績が好転し賃金が上がるといふ、成長と分配の好循環を成し遂げる重要な年」と捉えております。

鶴岡商工会議所としても地域の経済の再生に向け、経営の現場の立ち位置から具体的提案と行動を続ける所存であります。

地域の中小・零細企業がコロナ後の環境変化に柔軟かつ適切に対応できるようにDXなどによる生産性の向上、事業の再構築や取引の適正化などを通じた付加価値の向上に向け、

きめ細かい経営支援に引き続き努めるとともに、中心市街地の活性化など、地域を挙げた地方創生の再起動に貢献して参りたいと存じます。

昨年、当会議所では独自に「中心市街地活性化ビジョン」を策定し、鶴岡市に提言いたしました。今年はこの実現に向け官民一体で具体的な行動を起こして参りたいと考えております。

今年、7月に、新しいお札が発行される予定ですが、新1万円札には渋沢栄一の肖像が採用されるようであります。

ご存知の通り、渋沢翁は、我が国の社会経済の発展に傑出した業績を残し、新たな産業の育成など日本の近代化をリードした偉人であります。そして、欧米で商工会議所が産業振興に大きく貢献していることに倣い、日本初の商工会議所（現在の東京商工会議所）を設立し、初代会頭に就任しました。

今のこの厳しい経済環境の中、

近代日本経済の父と呼ばれ、激動の時代を切り拓いた渋沢翁に、改めて光が当てられることは、誠に意義深いものを感じるところであります。今、わが国は、バブル崩壊から「失われた30年」を経て、デフレ脱却という新たな飛躍に向けた重要な変化の狭間にあります。こうした大きな変化の荒波の中で、渋沢翁が信条とした「逆境の時こそ、力を尽くす」という言葉に思いを馳せ、危機こそ変革の好機とし、決然と力強い一歩を踏み出す、そうした一年でありたいものです。

鶴岡商工会議所自身も、コロナ禍明けの新たな経済環境の中で課題に果敢に挑戦し、会員事業所及び市民の皆様により頼りにされる商工会議所を目指してまいります。会員の皆様、また関係各位のこれまで以上のご指導・ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。



### 青年部



青年部 会長  
尾川 勝洋  
(有)尾川園

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年の挨拶を申し上げます。

昨年は、東北ブロック商工会議所青年部連合会の臨時総会で令和7年度に行われる「日本商工会議所青年部東北ブロック大会」の鶴岡開催の承認を頂きました。現在は、日本商工会議所青年部に開催希望日を伝えているところであります。また、12月定時総会では、令和6年度の役員人事が承認され、次年度に向けた新体制が決まりました。

本年は東北ブロック大会に向けてとても大切な年でもあり、引き続き、地域の皆様と共に青年部活動を通して明るく希望に満ちた地域になるように貢献してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



### 女性会



女性会 会長  
小野寺 美千子  
小野寺建設(株)

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかで、輝かしい新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。日頃より商工会議所女性会に対しましては、皆様方よりご指導ご協力を頂きまして、誠に有難うございます。

さて、私達を取り巻く環境は物価高騰、為替変動、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響も加わって大変厳しい状況が継続しております。先行き不透明な状況が続いておりますが、鶴岡商工会議所女性会では本年も女性ならではの感性や潜在力などを発揮し、地域との連携・交流を図りながら貢献して参りたいと存じます。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた実り多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

### 女性会活動報告



### 「若手後継者等育成事業」 鶴岡商工会議所女性会研修会

今年度は、災害や防災についてをテーマとして研修会を開催しました。

山形県防災学習館では、コミュニケーション力が最大の防災力であることや、日常使用する食品を多目に準備しておくローリングストックの重要性、体験として火災時を想定した暗闇での脱出、消火器を使ったの消火シミュレーション、心臓マッサージとAEDの使い方等を学びました。

研修会では、山形県をとりまく断層帯についてや地震の発生率、命を守る3つの行動、家の中での地震対策、住まいが被害を受けた時の罹災証明書について、また鶴岡市で起きた土砂災害を例に寝室を2階にした方が安全である事などお聞き、いざという時の為に学ぶ事が出来ました。



- 場 所/防災学習 山形県防災学習館  
研修会 鶴岡商工会議所会館 会議室
- 演 題/「防災対策について」
- 講 師/山形県庄内総合支庁総務企画部総務課  
防災安全室 防災安全主査 伊藤 幸司 氏
- 参加者/12名